

## 令和3年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	3. 住生活基本計画推進事業
項	4. 住宅費	中事業	
目	1. 住宅費	担当所属	住宅課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第2章	人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	5年間計画額	371,046	
臨時	補助	計画	0	0	1,645		実施計画	基本施策2	住宅・住環境	令和3年度	123,608
								施策1	価値の持続する住宅の整備を推進します	令和4年度	123,608
										令和5年度	123,830
										令和6年度	0
									令和7年度	0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	40,800	
本年度当初査定額	39,300	102,705

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市支出金	国庫等	国庫等	国庫等	その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0					40,800	△40,800
本年度当初査定額	37,800	1,500					0	63,405

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 佐倉市住生活基本計画に基づき、住まいの安定確保や住環境の向上を目指して、住まいに関する補助金の交付や空き家対策を実施します。</p>	<p>(事業の目的) 佐倉市住生活基本計画の推進に関し適宜、会議を開催し必要な事項を検討します。また、佐倉市空き家バンク事業及び空家対策及び定住化対策に関する各種補助事業により、市内の空き家の利活用を促進させ、定住人口の維持・増加と地域の活性化を図ります。佐倉市団地活性化モデル事業により、団地の活性化を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 佐倉市住生活基本計画の施策が推進されることで、市民が互いに地域で支えあい、安全・安心に暮らすことができる良好な住生活の実現が図れます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 財政的に厳しいことから、制度の見直し等が必要となります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 近居・同居住替支援事業を始めとする各種補助金交付事業の交付限度額を引き下げました。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 交付限度額の引き下げの代わりに、全ての補助金交付対象者に交付できるよう、必要と見込まれる件数の確保が必要です。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	239	248	△9
13	66	66	0
18	102,400	126,400	△24,000

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
	特定財源	16	02	05	02	01	00	社会資本整備総合交付金	37,800	37,800	48,600	△10,800
		17	02	05	01	02	00	地域少子化対策重点推進補助金	3,000	1,500	900	600
差引一般財源								△40,800	63,405	△49,500	112,905	